

木のやさしさに包まれ 伸び伸び子育てできる 家づくり

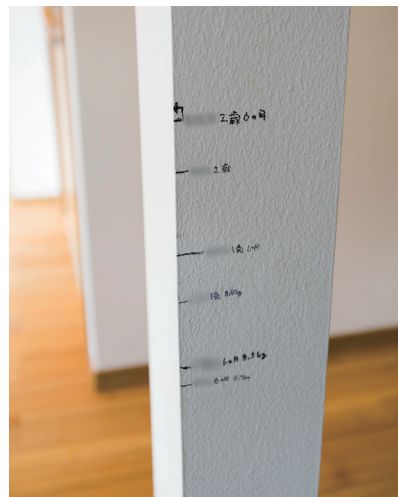


日当たりも良く居心地のいいリビング&ダイニング。お子様が走り回って遊べるように家具を置かず広々使っています。

最初のお子さんが生まれるのを機に家づくりを考え始めたというMさん夫妻。「天然素材を使った家で伸び伸びと子どもを育てられる家が理想でした」というお二人にとって、モミハウスの入った瞬間、心地よい木の香りに包まれたものの家はドンとくるものがあつたそう。アレルギーを持つ奥さまは、生まれて来る子どものためにもスピノフ壁の効果も併せた「空気環境にこだわった家づくり」に共感してくださいました。間取りは家族が一緒に過ごす時間を重視。家事をしながらでもお子様に目が届くキッチンの配置や洗面スペースとの家事動線などお子さまを想う気持ちが続く随所にあふれています。広々としたリビングには今は家具を置かず、走り回って遊べるようにしています。

「モミの木は夏はさらっとしてべたつかないし、冬は温もりを感じます」と、裸足で過ごす気持ち良さを満喫されているよう。特に浮造り加工の肌触りについて「子どもの足裏への刺激は脳や運動神経の発達に良いらしいんですよ」と主人。お子さんはお話を始めたのも同年代に比べてかなり早かったとか。モミの木がお子さんの健やかな成長をお手伝いできたのだとしたらうれしいですね！

次世代の住まい
CASE 50
塩釜市
Mさんの家
取材日／2017年2月



リビングの柱（構造柱）にお子さまの成長の記録が。「子どもも真似して壁に落書きしますが塗り直してできるので怒らずに楽しんでいます」とご主人。

空気環境についての暮らしの実感を伺うと、家のどこにも芳香剤や消臭剤を使わずに済み、焼き魚など料理の匂いも残らないことに感じているとか。また「花粉の飛散も家の中では感じずに過ごせる」と喜んでいただきました。



玄関ホールから入ってほどなく洗面所&トイレ。お子様が帰ってすぐぐうい手洗いで、汚れて帰って来ても安心。



リビング側からシンクの手元を隠せるカウンター。部屋の隅のちょっとしたスペースにはパソコンスペースを設けました。



キッチンにいてもお子様に目が届く間取りを考えました。奥に続く和室も遊びのスペース。キッチンと洗面スペースも家事動線をつなげています。



CASE49:塩釜市 Mさんのお宅

家族構成:ご主人、奥さま、お子様
延べ床面積:約40坪 4LDK
こだわり設備:モミの木の床、スピノフ



2階の子ども部屋はお子さんが小さいうちは広々と一緒に使い、将来は真ん中で仕切れる造りに。



CO2削減に貢献する目的で太陽光発電を設けました。毎月の電気代も大助かり。

